

会津線活性化連携協議会

平成21年3月2日設置



概要

会津鉄道会津線の沿線3市町(会津若松市、南会津町、下郷町)は共同で、会津線の路線の維持と活性化に向けて、国の総合的な支援を受けることのできる地域公共交通総合連携計画を策定、実施します。この計画策定について協議するための組織として、沿線3市町のほか、福島県、会津鉄道、沿線住民の代表、観光協会などで組織される「会津線活性化連携協議会」を設置しました。

○地域公共交通の現況

- ・会津鉄道会津線 西若松駅～会津高原尾瀬口駅
- ・路線概況:57.4km 21駅(会津若松市、南会津町、下郷町)
JR只見線への乗入れ、野岩鉄道会津鬼怒川線、東武線と接続し、首都圏と結ぶ
- ・H19年度利用:720千人(定期324千人、定期外396千人)

○地域公共交通の課題

- ・定期利用者の減少 (⇒第一に生活交通需要確保が必要)
- ・観光誘客の伸び悩み (⇒第二に観光交通需要確保が必要)
- ・二次交通の整備の遅れ(⇒鉄道端末の確保が必要)

○調査の主な内容

- ・旅客流動調査(OD調査)(平日、休日の全便、全区間調査、分析)
- ・沿線住民ニーズ把握調査(利用者、非利用者分析)
- ・先進事例研究調査(会津線導入への参考となる事例調査)

○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・生活交通及び観光交通需要の利用促進策の検討
- ・鉄道端末交通との連携策の検討 ・高齢者の利用促進
- ・安全輸送継続のための施設整備 等

利用促進策の検討
(観光交通需要)



利用促進策の検討
(生活交通需要)



鉄道端末交通との連携

バリアフリー

